

日本性科学会 ニュース

第27巻 第2号

平成20年（2008年）6月

発行人：大川 玲子 印刷所：(株) 絢文社

第28回日本性科学学会／第10回性科学セミナーのご案内

会 期：2008年10月4日（土）13：00～17：00 第10回性科学セミナー
10月5日（日）9：00～16：00 第28回日本性科学学会学術集会

会 場：芝蘭会館稲盛ホール

京都市左京区吉田近衛町京都大学医学部構内 Tel：075-753-9336

学 会 長：菅沼信彦（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授）

参 加 費：性科学セミナー 3,000円（学生1,000円）

性科学学会学術集会 5,000円（学生1,000円）

性科学セミナー＋性科学学会学術集会（2日間）7,000円（学生2,000円）

メインテーマ：「男と女の間には…」

特別講演Ⅰ：スカートの中が見える時～性欲の文化論～

国際日本文化研究センター教授

井上 章一 先生

特別講演Ⅱ：未定

会 長 講演：男と女の間には…インターセックス～30年間の医学的自分史～

京都大学大学院医学研究科教授

菅沼 信彦 先生

シンポジウム：マイノリティにおけるセクシュアリティターナー女性の性意識

京都大学大学院医学研究科

亀田 知美 先生

性同一性障害者の性行動

はりまメンタルクリニック

針間 克己 先生

ゲイ男性のセクシュアリティ

関西看護医療大学

日高 庸晴 先生

身体障害者のセクシュアリティ

愛知淑徳大学医療福祉学部

谷口 明広 先生

*一般演題締切 2008年6月30日

ご発表はパソコンプロジェクターを使用した口演のみとさせていただきます。

*一般演題募集要項

eメールのみにて演題を募集いたします。

必要事項を入力の上、抄録を添付ファイル（MS-WORD）または、メールに書き込みお送り下さい。

あわせて、プリントした抄録原稿を下記宛にお送り下さい。

eメール・アドレス：jsss28@hs.med.kyoto-u.ac.jp

電話・ファックス番号：075-751-3971（第28回日本性科学学会事務局：担当 山口・清川）

発表にはPower-Pointを使用して、当日はUSBメモリを持参し、前もって動作確認を行って下さい。

時間のない方、Macintoshの方はパソコン本体を持参して下さい。

*必要記入事項

1) 演題名 2) 演者氏名（発表者を筆頭に） 3) 所属機関

4) 発表者連絡先住所、電話番号、ファックス番号、eメール・アドレス

5) 400字以内の抄録

*演題応募を受信しましたら、数日以内に確認のメールを配信しますので、もし、確認メールが届かない場合は、事務局までご連絡下さい。

演題受付、採否、発表時間につきましては、追ってご連絡いたします。

*お問い合わせ先

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53

第28回日本性科学学会事務局

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻家族看護学講座内

事務局代表電話／ファックス：075-751-3971（担当：山口、清川）

学会長直通電話／ファックス：075-751-3912

Vol. 27

No.

2

日本性科学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

「性的オリエンテーション」について考えさせられた2つケース

帝京平成大学 黒 柳 俊 恭

研究会当日は、「性的オリエンテーション」に関する最近の研究動向も含め、かつて報告者が経験したケースのなかから、特に「性的オリエンテーション」について考えさせられた2例を、心理テストの結果などをも交え、かなり詳細に報告した。ただ、研究会でも、レジュメは回収させて頂いたように、今回この「ニューズレター」にケースを載せることについては、「個人情報」の観点から、いっそう注意深くあらねばならず、その詳細は勿論、書くことは出来ない。従って、ケースの要点のみを、以下に記した。

症例1のAさんは、20代半ばまで、異性愛の男性として、女性に対し性的関心をもっていたが、この数年間、次第に自身が女性であるかに感じはじめ、それに伴って性的関心が男性に移ってきたという。

Aさんの場合、大柄な体格で、外見上は同性愛者の「ステレオタイプ」を、感じさせるものがなく、当初、外見と訴えがマッチしないとの印象をもった。治療が進み、父親の職業である、「医師」になって欲しいという、両親からの絶大な期待のもとで、育てられたことが次第に明らかになった。本人は繰り返し医学部を受験したが、合格することは出来ず、結局、有名私立大学の教育学部には入学出来たが、教育学部のある授業のなかで「朗読」することを求められ、それが出来なかったことがきっかけで、部屋に閉じこもるようになり、結局その大学も退学してしまった。その後、再び医学部を繰り返し受験したが、結果は思わしくなく、現在は別の私大の文学部に入学して、精神科の「治療」を受けている。

彼の悩みを傾聴しているうち、彼が望むように、彼の性の「オリエンテーション」のみを、行動療法などで変えても、彼の問題は解決しないとの印象を持つようになった。

父親の職業＝医師になれないなら、父親の性＝男性にもなれないとする、感じ方、考え方こそ、歪んだ認識であり問題なのであって、それこそを治療の対象にすべきだと感じるのである。

症例2のBさんの性は、トランスセクシュアル (TS)、トランスジェンダー (TG) の悩みが精神科の相談の対象になってきた現在の日本では、それほどめずらしいものではない。40代半ばまで、女性好きで結婚歴もあり、たとえ子どもがいたとしても、「自分を女性化することの喜び」や「性的ファンタジー」のために、ジェンダーを変える欲望に逆らえないTSや、TGがおられるが、症例のBさんもそのお1人だった。一旦、その欲望を具体化し始めると、それと平行して、ご自身の中の「女性」を意識し始めて、外界の女性に対する欲望（異性愛的オリエンテーション）が変化し始めるようになる。

こんな時期、当事者の方はよく自分自身が女性であるのに、女性に性的に反応してしまうのを恥じたり、不快に思ったりされるが、事例のBさんもそんな訴えを繰り返された。また、その状態になってくると、自分の「内なる女性」に魅せられて、次第にそれと同一化して、その「内なる女性」に関心をもってくれる男性が好き、という変化が現れるようになる。

ご自身にとっては、「内なる女性」の女性としての魅力を確認してくれる役割として、「男性パートナー」が役立つわけである。こんな変化を外部からのみ観察するなら、生物学的女性に向っていた「性的オリエンテーション」が、男性パートナーに向ったかに見えて、オリエンテーションの逆転が生じたように見えるわけである。

まとめ：ジェンダー・アイデンティティと性的オリエンテーションは、教科書的には独立していて、だからこそ、ゲイやレズビアンも存在するわけだが、今回、報告した2つのケースでは、2例ともジェンダー・アイデンティティの変化に伴って、性的オリエンテーションが複雑にそして微妙に変化いく様子が観察されて、大変興味深く思えた。

第13回日本性科学会総会議事録

日時：2008年5月11日 午後1時00分～1時30分
場所：東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5F講堂，東京

司会者（針間幹事長）が議長を誰にすべきかを会場に諮った。会場からの「司会者に一任」の声を受け，高波真佐治参与が議長となる。以下高波真佐治参与の議長で進行。

議長より，「出席者49名，委任状123名。総会が成立した」との報告があった。

議題1 2007年度事業報告（阿部副理事長）

- 2007年度の事業報告が阿部副理事長からなされ，承認された。（資料1）

議題2 2007年度決算の承認（堀口理事）

- 2007年度の決算が堀口理事より報告された。（資料2）
- 本多監事より監査した旨の報告があり，決算は承認された。

議題3 日本性科学会理事長選任について

- 議長より，過日の選挙において当選した選出理事の互選により，大川理事が理事長に選出されたことが報告され，大川理事長の選任が提案され，承認された。

議題4 日本性科学会理事選任について

- 大川理事長より理事選挙で当選の選出理事10名及び理事長指名の指名理事3名が提示され，承認された。
- 大川理事長より副理事長，常務理事，担当理事，委員長，参与，監事，幹事の紹介があった。

議題5 2008年度事業計画案の承認（阿部副理事長）

- 2008年度の事業計画案が，阿部副理事長により提示され承認された。（資料3）

議題6 2008年度の予算案の承認（堀口理事）

- 2008年度の予算案が堀口理事より提示され承認された。（資料4）

議題7 第29回日本性科学学会学会長選任について

- 大川理事長より塚田理事が推薦され，承認された。塚田理事の挨拶があった。

議題8 資格認定制度委員会報告（阿部副理事長）

- 2007度の新しい資格申請者はなし。
- 2007年度更新者は，セックス・カウンセラー0，セックス・セラピスト4名
- 2008年3月31現在，セックス・カウンセラー19名，セックス・セラピスト40名

第28回日本性科学学会学会長挨拶

- 菅沼信彦学会長の「学会は，京都で，10月4～5日に開催。多くの方の参加を期待している」との挨拶があった。

阿部副理事長による閉会の挨拶

〈総会資料1〉

2007年度（平成19年）事業報告

（2007年4月1日～2008年3月31日）

1. 第12回総会

日時：2007年5月20日 午後1時15分～1時45分
場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5F講堂

出席者：44名 委任状：138名

2. 会員状況

会員数

2006年度末 正会員 291名 賛助会員 5法人

2007年度末 正会員 291名 賛助会員 4法人

年度内会員移動

入会員数 正会員 32名 賛助会員 0法人

退会員数 正会員 32名 賛助会員 1法人

3. 会の運営

1) 理事会 3回

2) 幹事会 12回

4. 学術集会開催

1) 第27回日本性科学学会

日時：2007年11月11日

場所：千葉市・千葉市民会館

会長：高波真佐治（東邦大学医療センター

佐倉病院泌尿器科教授）

テーマ：ヒトの性行動を考える

5. 研修会，研究会の開催

1) 第36回性治療研修会

日時：2007年5月20日

場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校1号館5F講堂

2) 第2回日本性科学会近畿地区研修会

日時：2008年2月24日

場所：大阪市・大阪市立大学医学部

3) 症例研究会 6回開催

6. 学会雑誌，学会ニュース発行

1) 学会雑誌 2回発行

2) 学会ニュース 4回発行

7. 資格認定制度実施状況

1) 新規資格認定数 セックス・カウンセラー 0名

セックス・セラピスト 0名

2) 更新資格認定数 セックス・カウンセラー 0名

セックス・セラピスト 4名

3) 有資格者数 セックス・カウンセラー 19名

セックス・セラピスト 40名

8. 関連団体との交流

1) 国内団体

(1) 本性科学連合（JFS）第9回性科学セミナー

加盟団体：日本性科学会・（社）日本家族計画協会・

（財）日本性教育協会・日本思春期学会・

日本性機能学会

日時：2007年11月10日
場所：千葉市・千葉市民会館
(2) 10回GID（性同一性障害）学会
日時：2008年3月15～16日
場所：高槻市・高槻現代劇場

(3) がんと性研究会

日時：2007年9月1日
場所：東京都・東京大学

(4) セクシュアリティ研究会

「カラダと気持ち・シングル版」発行，三五館，
DVD「愛の相談室－ミドル・シニアの性生活」監
修，マクザム

(5) 第6回日本思春期学会（会長 茅島江子）

日時：2007年8月24～26日

場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校

(6) 第3回アジア性教育学術会議

（実行委員長 堀口雅子）

日時：2007年8月18～20日

場所：東京都・立教大学

2) 国際学会

(1) 性の健康世界学会（WAS）

日時：2007年4月15～19日

場所：オーストラリア・シドニー

〈総会資料2〉

日本性科学会 2007年（平成19年）度決算

（2007年4月1日～2008年3月31日）

〈総会資料3〉

2008年度(平成20年)事業計画案

(2008年4月1日～2009年3月31日)

1. 学術集会開催

1) 第28回日本性科学学会

日時：2008年10月5日

場所：京都市・京都大学医学部芝蘭会館稲盛ホール

会長：菅沼信彦(京都大学大学院医学研究科人間健康学専攻教授)

テーマ：男と女の間には…

2. 研修会、研究会の開催

1) 第37回性治療研修会

日時：2008年5月11日

場所：東京都・東京慈恵会医科大学西新橋校1号館
5F 講堂

2) 第3回日本性科学会近畿地区研修会

日時：2009年2月

3) 症例研究会

年6回予定(奇数月)

3. 学会雑誌、学会ニュース発行

1) 学会雑誌 2回発行

2) 学会ニュース 4回発行

4. 資格認定制度の実施

5. 関連団体との交流

1) 国内団体

(1) 日本性科学連合(JFS)第10回性科学セミナー

日時：2008年10月4日

場所：京都市・京都大学医学部芝蘭会館稲盛ホール

(2) GID(性同一性障害)学会

日時：2009年2月14～15日

場所：長崎市・長崎大学

(3) がんと性研究会第7回がん患者さんの性を支援するための研修会

日時：2008年9月13日

場所：東京都・東京大学医学部教育研究棟2F

(4) 第27回日本思春期学会(会長：高波眞佐治)

日時：2008年8月29～31日

場所：千葉市・京葉銀行文化プラザ

(5) その他

2) 国際学会

(1) 第10回アジア・オセアニア性科学会

日時：2008年10月16～20日

場所：中国・北京

(2) その他

〈総会資料4〉

日本性科学会 2008年(平成20年)度予算案

日本性科学会役員

名誉理事長(顧問)
名誉副理事長(理事)
理事長(国際関係担当)
副理事長(認定制度・総務担当)
常務理事(学術担当)
理事

倫理担当
倫理副担当
財務担当
財務副担当
学術副担当
研修担当
広報担当
広報副担当

参 与
監 事

幹 事
幹事長(総務・JFS担当)
副幹事長(研修担当)
倫理担当
財務担当
学術担当
学術担当
研修担当
広報担当
広報担当

事務局長
顧問
名誉会員

松本 清一
野末 源一
大川 玲子
阿部 輝夫
武田 敏
石津 宏
塚田 攻
堀口 貞夫
亀谷 謙
永井 敦
金子 和子
石河 修
村口 喜代
川野 雅資
高波 真佐治
本多 洋
長田 尚夫
針間 克己
茅島 江子
矢島 通孝
大谷 真千子
高橋 都
山中 京子
森村 美奈
杉山 正子
石丸 径一郎
本郷 元夫
長池 博子
斎藤 宗吾
熊本 悦明
玉田 太朗
廣井 正彦
山崎 高明
菅沼 信彦
塚田 攻

(社)日本家族計画協会会長 群馬大学・自治医科大学名誉教授
村上学園総長 山王病院産婦人科
国立病院機構千葉医療センター外来管理部長・産科医長
あべメンタルクリニック院長
千葉大学名誉教授
琉球大学名誉教授
埼玉医科大学かわごえクリニック神経精神科講師
主婦会館クリニックからだ心と心の診療室院長
亀谷メンタルクリニック院長
川崎医科大学泌尿器科教授
日赤医療センター臨床心理士
大阪市立大学大学院医学研究科・医学部女性病態医学講座教授
村口きよ女性クリニック院長
東京慈恵会医科大学医学部看護学科精神看護学教授
東邦大学医療センター佐倉病院泌尿器科教授
三井記念病院総合健診センター嘱託
聖マリアンナ医科大学泌尿器科元教授
はりまメンタルクリニック院長
東京慈恵会医科大学医学部看護学科教授
やじま泌尿器科クリニック院長
千葉県立衛生短期大学教授
東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻講師
大阪府立大学社会福祉学部助教授
大阪市立大学大学院医学研究科卒後医学教育学講師
すぎやまレディースクリニック院長
国立精神・神経センター・日本学術振興会特別研究員
新医学普及協会理事
長池産婦人科医院名誉院長
三聖病院名誉院長
勤性の健康医学財団会頭 札幌医科大学名誉教授
自治医科大学名誉教授
山形大学名誉教授
山崎産婦人科医院院長
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系教授
埼玉医科大学かわごえクリニック神経精神科講師

第28回日本性科学学会会長
第29回日本性科学学会会長

追悼 石浜 淳美 先生

(平成20年3月3日御逝去)



先生は九大で卒業後岩手医科大学産婦人科の助教授として、避妊リングの研究をされましたが、大学の研究テーマに避妊を選ばれたことは、当時としては珍しいことでした。先生の避妊研究の原点は昭和20年の終戦時、外地からの引き上げ女性の検診に関わられて、妊娠末期の妊娠中絶を相当数実施せざるを得なかったことにあるようでした。その指令がどこから出されたのかは今もって不明ということでしたが。

家族計画指導の必要性が女性にとっては勿論のこと、家族にとっても重大な問題になり、昭和23年優生保護法が成立し、第15条に受胎調節を指導するように謳われております。先生の避妊リングに関する業績は世界でも先駆者で、望まない妊娠、且つ人工妊娠中絶を無くすことに貢献されたということで第1回の松本賞を受賞なさいました。

エーザイを会場にしている思春期研究会、持田ホールでの日本性治療研究会など草分けの一人として協力なさいました。私も産婦人科の医師としてまた女性として家族計画の重要性や性教育の必要性を痛感しておりましたので、会ではいつもお会いしていました。

1987年(昭和62年)私が会長で第7回性科学学会が仙台で開催された時には、いろいろとご指導頂いたことを忘れることは出来ません。松本先生を団長とする海外各地域の思春期保健視察などでご一緒し、24時間行動を共にしましたが、見かけより大変ユニークで楽しい方でした。論文以外にも多くのご著書がありますが、一貫して女性の健康のため、中高年夫婦の充実した幸せのためという性科学者としての温かい思いが感じられます。

小山病院の院長を退職されてから、埼玉を本拠としてお仕事をなさっておられましたのに、ご家族の関係で2000年仙台市に移住され、私が最後にお見舞いに伺ったのはご他界の14日前でした。仙台で終焉を迎えられるとは思ってもみませんでしたが、信頼できるご家族の在宅看護でお幸せそうでした。

日本性科学会副理事長(認定制度担当) 阿部 輝夫

日本性科学会セックス・カウンセラー セックス・セラピスト資格認定規定・更新規定(日本性科学会雑誌vol.1に掲載)、ならびに新規資格認定に一部改正点(日本性科学会ニュース第27巻1号に掲載)に基づき、2008年度の新規ならびに更新の資格認定を行います。

尚、資格認定申請期間は、新規・更新ともに8月1日～8月31日です。新規資格認定希望者は、申請書類を日本性科学会事務局までご請求ください。資格更新該当者には、事務局より7月中に更新申請書類を郵送いたします。

いずれの場合も資格認定規定、改正点をご熟読の上御申請ください。ご不明な点は学会事務局にお問い合わせください。(tel 03-3475-1780 受付時間月・水・金10:00～13:00)